

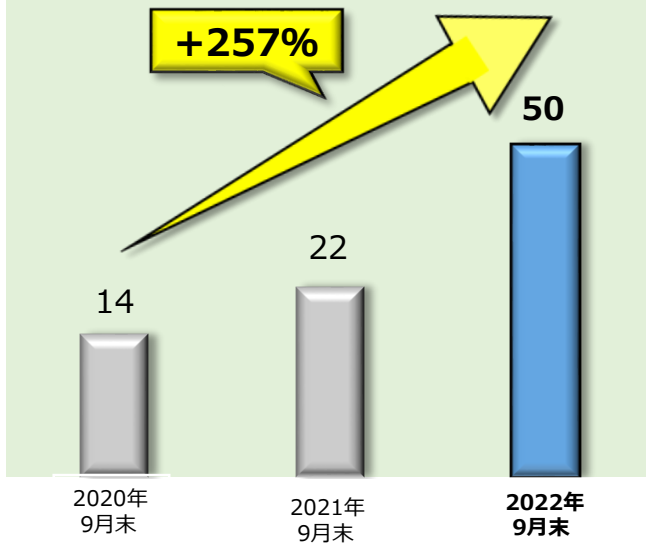
2022年度中間期決算参考資料

2022年11月



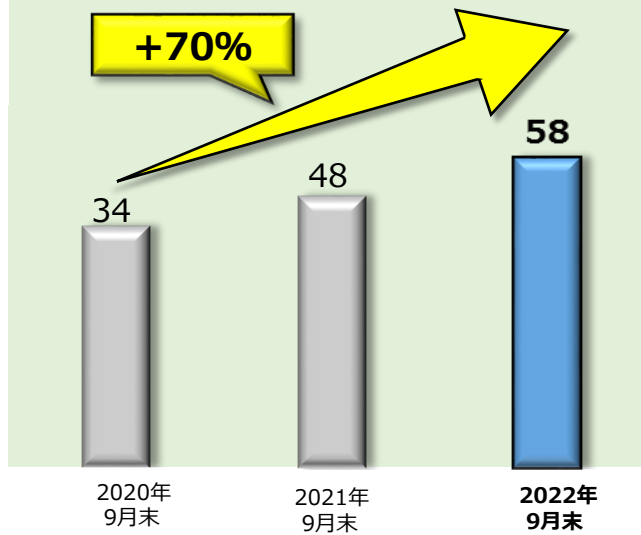
1. 決算ハイライト【単体】① (単位:億円)

中間純利益



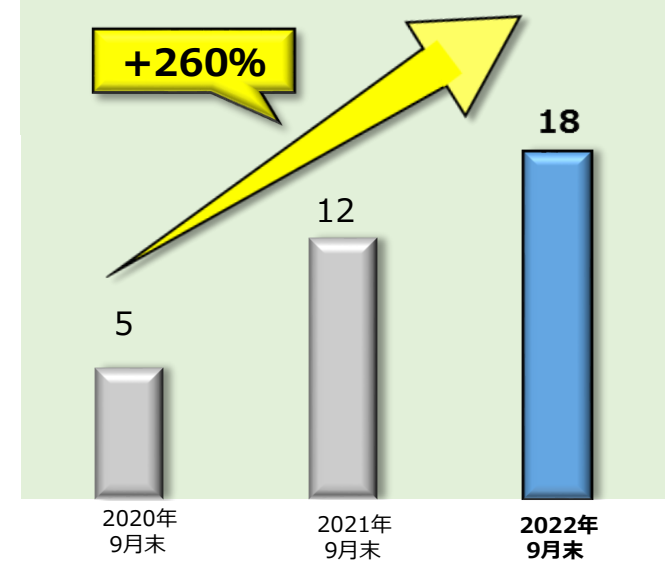
コア業務純利益

(=実質業務純益 - 国債等債券損益 (5勘定戻))

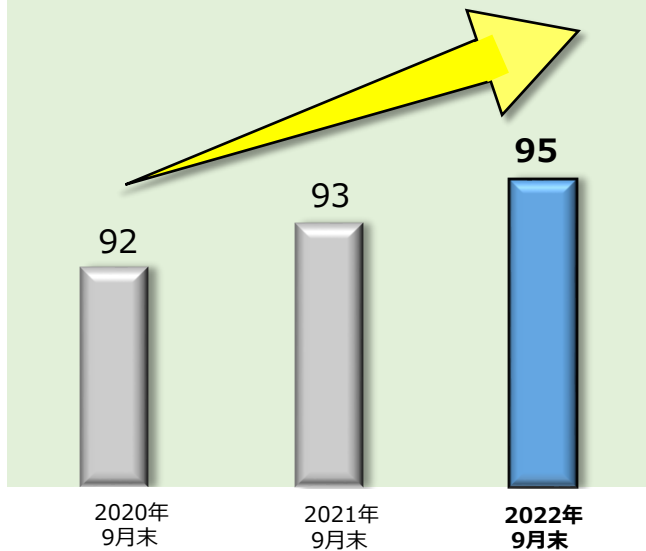


対顧客利益

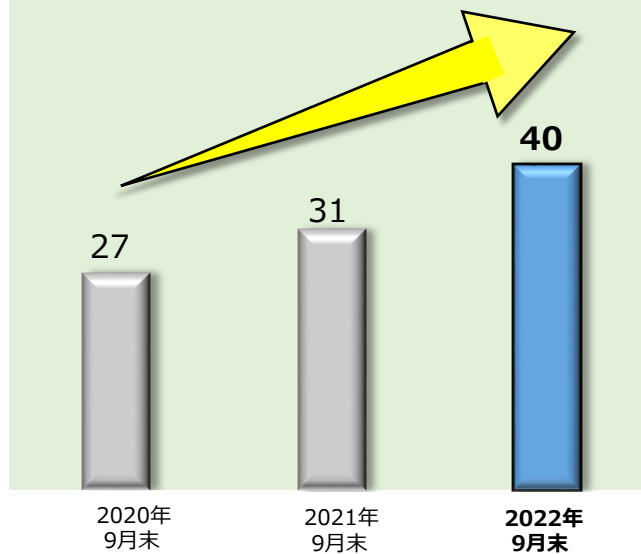
(=預貸金利息 + 役務利益 - 経費)



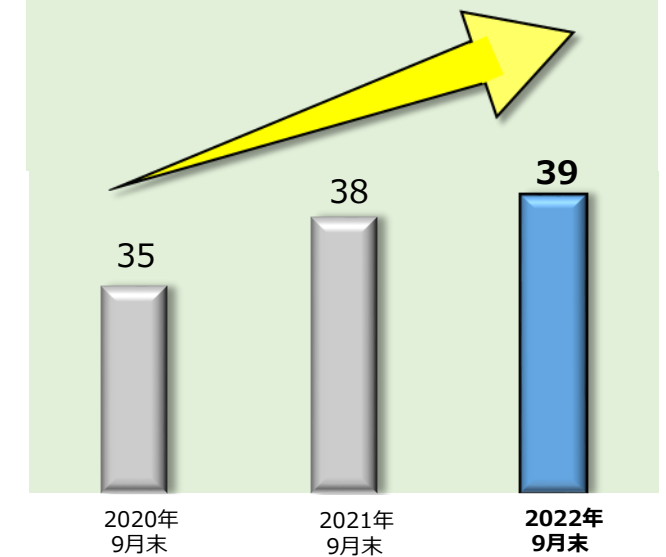
貸出金利息



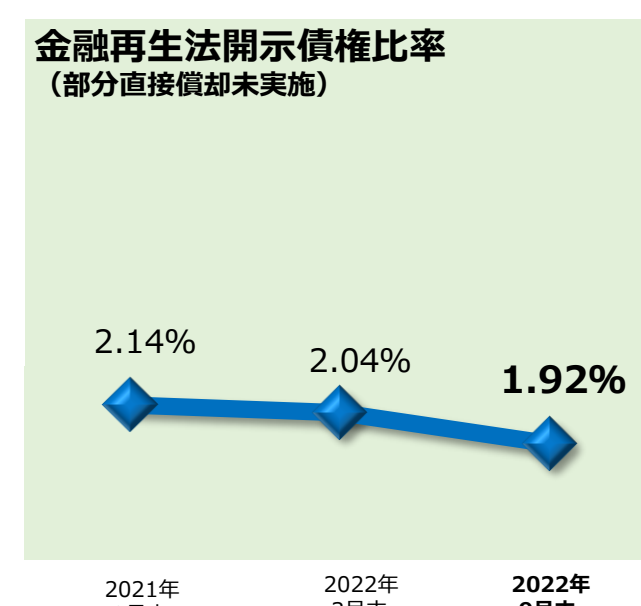
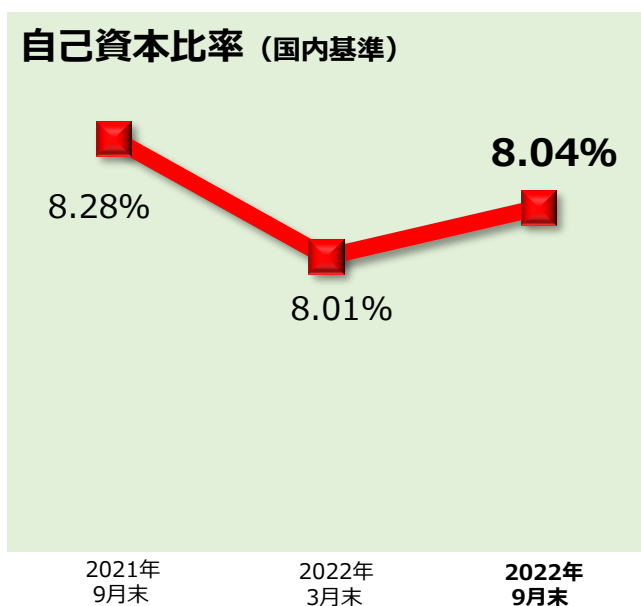
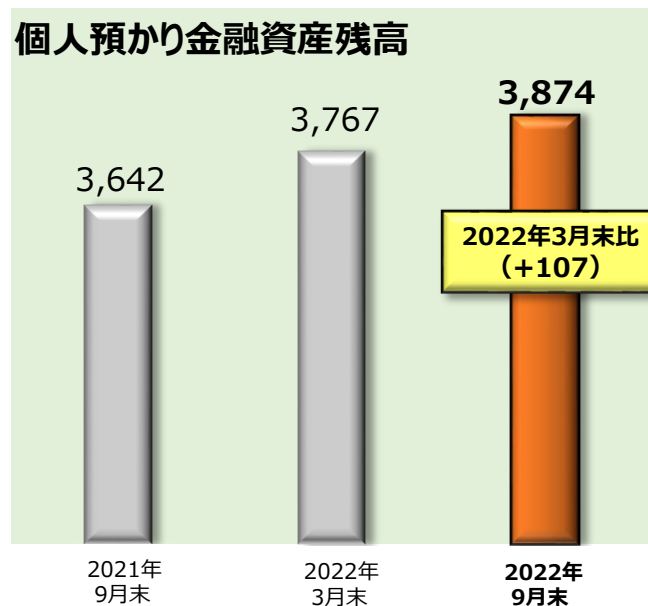
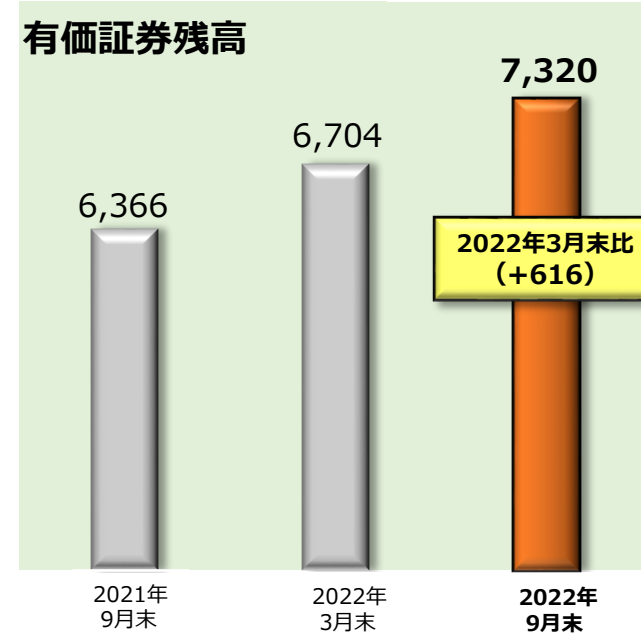
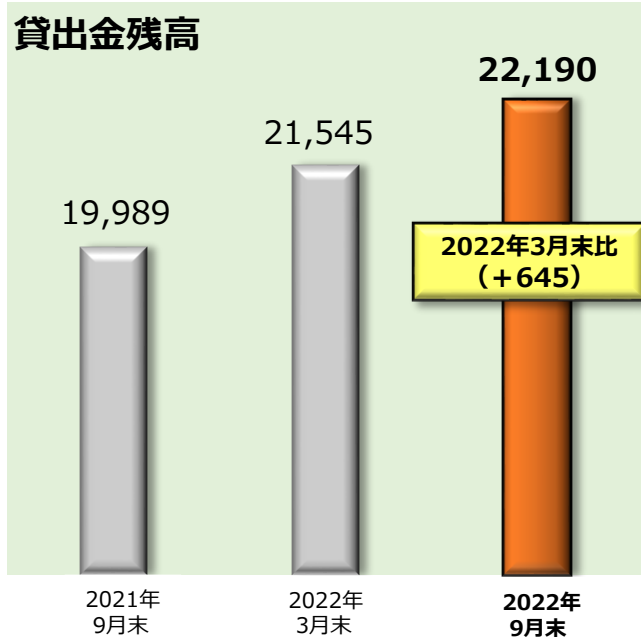
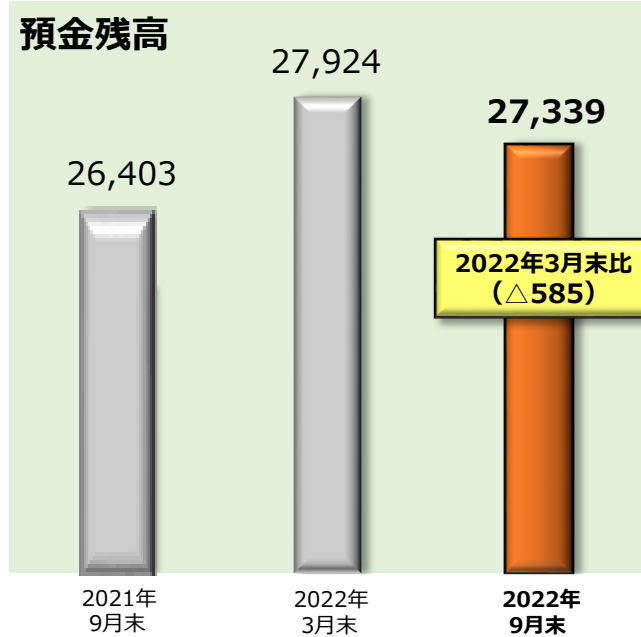
有価証券利息配当金



役務取引等収益



1. 決算ハイライト【単体】② (単位:億円)



1. 決算ハイライト【単体】③ (単位:百万円)

損益の状況

項目	N o	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前期比
経常収益	1	18,616	19,832	1,216
業務粗利益 ①	2	14,811	15,198	387
資金利益	3	12,526	13,125	599
役務取引等利益	4	2,070	2,245	175
その他業務利益	5	214	△ 172	△ 386
うち国債等債券関係損益	6	△ 65	△ 324	△ 259
経費 (△) ②	7	10,049	9,697	△ 352
うち人件費	8	5,414	5,275	△ 139
うち物件費	9	3,960	3,705	△ 255
実質業務純益	10	4,762	5,501	739
コア業務純益	11	4,828	5,825	997
除く投資信託解約損益	12	4,789	5,456	667
一般貸倒引当金繰入額 (△)	13	606	-	△ 606
業務純益	14	4,156	5,501	1,345
臨時損益	15	△ 665	870	1,535
うち不良債権処理額 (△)	16	1,761	69	△ 1,692
うち貸倒引当金戻入益	17	-	31	31
うち株式等関係損益	18	777	743	△ 34
経常利益	19	3,490	6,372	2,882
特別損益 ③	20	△ 131	356	487
税引前中間純利益	21	3,358	6,729	3,371
法人税等合計 (△)	22	1,072	1,702	630
中間純利益	23	2,286	5,026	2,740
信用コスト (△) ③	24	2,367	37	△ 2,330

概要

- ✓ **経常収益**は、貸出金利息や有価証券利息配当金、役務取引等収益の増加を主因に、前年同期比1,216百万円の増収
- ✓ **経常利益**は、業務粗利益の増加に加え、経費や信用コストの減少等により、前年同期比2,882百万円の増益
- ✓ **中間純利益**は、経常利益の増加を主因に、前年同期比2,740百万円の増益

① 業務粗利益

- ✓ 資金利益は、貸出金や有価証券利息配当金の増加等を主因に、前年同期比599百万円の増加
- ✓ 役務取引等利益は、法人コンサル関係手数料の増加等により、前年同期比175百万円の増加

② 経費

- ✓ 業務効率化による人件費の圧縮等により、前年同期比352百万円の減少

③ その他

- ✓ 特別損益は年金制度移行に伴う改定益計上等により、前年同期比487百万円の増加
- ✓ 信用コストは前期大口発生の反動減等により、前年同期比2,330百万円の減少

(単位：百万円)

2. 2022年度中間期損益状況の補足説明

項目	No	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前期比	備考
業務粗利益	1	14,811	15,198	387	貸出金平残 +7.72% (+1,563億円)
資金利益	2	12,526	13,125	599	貸出金平残【除く政府系】 +6.76% (+1,165億円)
資金運用収益	3	12,676	13,861	1,185	貸出金利回り 0.927% ⇒ 0.878% (△0.049%)
貸出金利息	4	9,343	9,532	189	貸出金利回り【除く政府系】 1.082% ⇒ 1.034% (△0.048%)
有価証券利息配当金	5	3,144	4,059	915	
その他	6	189	269	80	預金等平残 +2.49% (+693億円)
資金調達費用	7	149	735	586	預金等利回り 0.008% ⇒ 0.017% (+0.009%)
預金等利息	8	117	250	133	
その他	9	32	484	452	総資金利鞘 0.20% (前年比 +0.02%)
役務取引等利益	10	2,070	2,245	175	
役務取引等収益	11	3,870	3,991	121	法人ビジネス関係 +138
" 費用	12	1,799	1,745	△54	
その他業務利益	13	214	△172	△386	
経費	14	10,049	9,697	△352	物件費△255、人件費△139、税金+43
実質業務純益	15	4,762	5,501	739	
信用コスト	16	2,367	37	△2,330	前期大口発生の反動減
一般貸倒引当金繰入額	17	606	-	△606	
個別 " "	18	1,720	-	△1,720	信用コスト = 0.003% (前年比△0.230ポイント)
債権売却損等	19	40	69	29	貸出金平残
貸倒引当金戻入益 (△)	20	-	31	31	
その他の臨時損益	21	1,095	908	△187	
経常利益	22	3,490	6,372	2,882	
特別損益	23	△131	356	487	+ 要因：退職給付制度改定益 +440、減損損失△67、△要因：固定資産処分損 +55
税引前中間純利益	24	3,358	6,729	3,371	
法人税等・法人税等調整額	25	1,072	1,702	630	
中間純利益	26	2,286	5,026	2,740	
対顧客利益 (4-8+10-14)	27	1,247	1,829	582	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

3. 対顧客利益の推移【単体】

(単位：百万円)

項目	No	2020年度9月中間期		2021年度9月中間期		2022年度9月中間期	
			前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-6)	1	513	729	1,247	734	1,829	582
預貸金利息	2	9,119	92	9,226	107	9,281	55
貸出金利息	3	9,275	85	9,343	68	9,532	189
預金等利息	4	156	△ 7	117	△ 39	250	133
役務利益	5	1,647	247	2,070	423	2,245	175
経費	6	10,253	△ 390	10,049	△ 204	9,697	△ 352

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

4. 経常収益・利益の推移

【単体】 (単位：百万円)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2022年9月期	19,832	1,216	6,372	2,882	5,026	2,740
2021年9月期	18,616	1,645	3,490	1,168	2,286	843
2020年9月期	16,971	230	2,322	608	1,443	338
2019年9月期	16,741	△3,805	1,714	△286	1,105	△623
2018年9月期	20,546	3,158	2,000	△44	1,728	△394
2017年9月期	17,388	△6,880	2,044	△304	2,122	269
2016年9月期	24,268	207	2,348	△2,385	1,853	△1,264
2015年9月期	24,061	3,582	4,733	413	3,117	△9
2014年9月期	20,479	△1,798	4,320	△776	3,126	△234
2013年9月期	22,277	1,409	5,096	4,300	3,360	3,279
2012年9月期	20,868	726	796	△4,006	81	△2,792
2011年9月期	20,142	△732	4,802	△83	2,873	799

経常収益 : 2021年9月期に続き3期連続の**増収**
経常利益 : 2021年9月期に続き3期連続の**増益**
中間純利益 : 2021年9月期に続き3期連続の**増益**

【連結】 (単位：百万円)

	連結経常収益		連結経常利益		連結中間純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2022年9月期	23,439	1,203	6,163	2,746	4,712	2,648
2021年9月期	22,236	1,451	3,417	1,076	2,064	735
2020年9月期	20,785	266	2,341	514	1,329	253
2019年9月期	20,519	△3,706	1,827	△166	1,076	△533
2018年9月期	24,225	6,467	1,993	△453	1,609	△534
2017年9月期	17,758	△6,731	2,446	△168	2,143	275
2016年9月期	24,489	68	2,614	△2,576	1,868	△1,272
2015年9月期	24,421	3,453	5,190	410	3,140	△9
2014年9月期	20,968	△1,817	4,780	△724	3,149	△235
2013年9月期	22,785	1,558	5,504	4,599	3,384	3,287
2012年9月期	21,227	827	905	△4,061	97	△2,793
2011年9月期	20,400	△838	4,966	△192	2,890	797

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

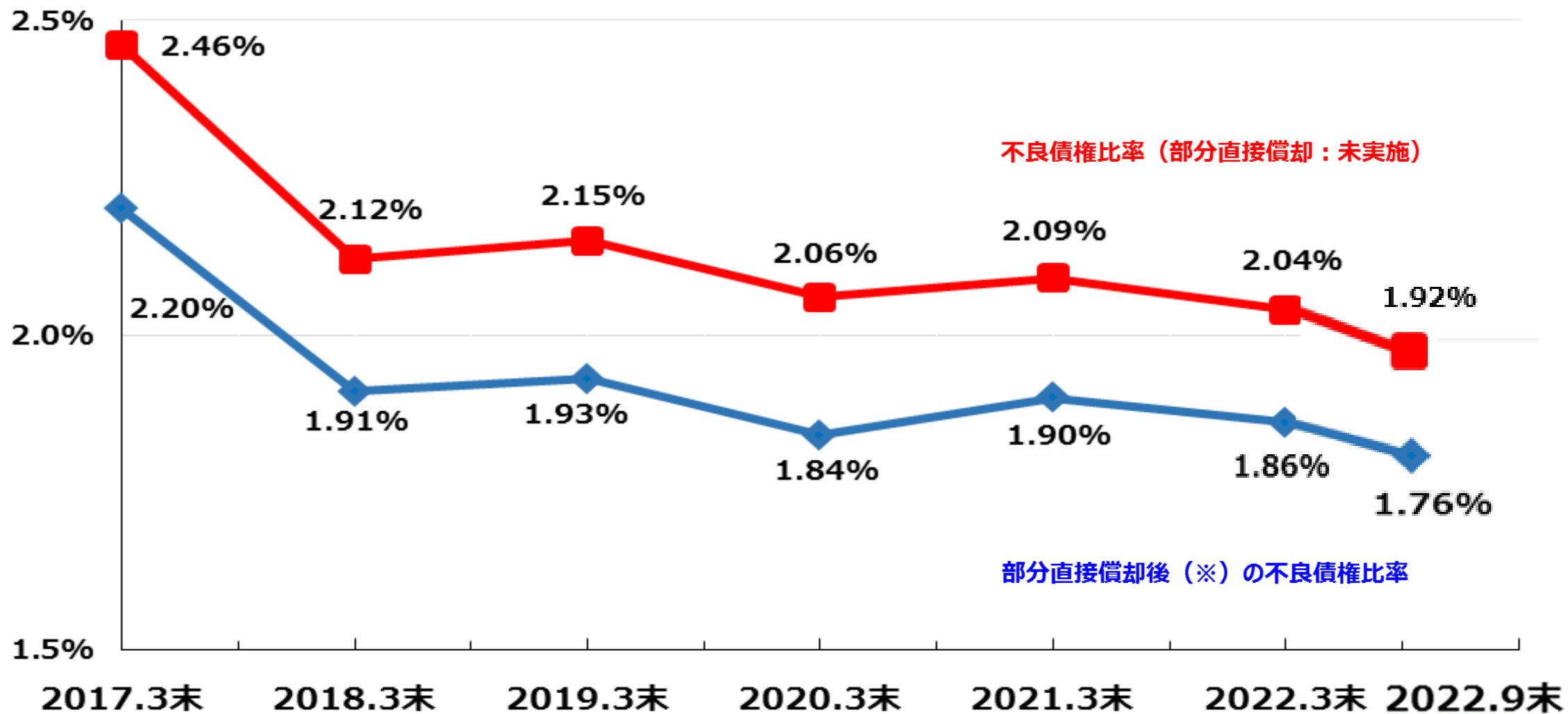
※連結中間純利益の欄は、「親会社株主に帰属する中間純利益」を記載しております。

5. 連結損益の状況

(単位：百万円)

	連結実績				連単差(2022年度中間期)			
	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年比	備考	①単体	②連結	連単差 (②-①)	連単差の内容
経常収益	22,236	23,439	1,203	◇増加要因 ・単体経常収益 +1,216 ・子会社売上高 +20 ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の増加 △33	19,832	23,439	3,607	・子会社売上高 +4,678 ・連結相殺 △1,071 (うち 子会社配当 △506)
経常利益	3,417	6,163	2,746	◇増加要因 ・単体経常利益 +2,882 ・連結相殺・調整額の増加 +5 ◆減少要因 ・子会社経常利益 △141	6,372	6,163	△ 209	・子会社経常利益 +296 ・連結調整 +1 ・子会社配当 △506
当期利益	2,064	4,712	2,648	◇増加要因 ・単体当期純利益 +2,740 ・連結相殺・調整額の減少 +8 ◆減少要因 ・子会社当期純利益 △100	5,026	4,712	△ 314	・子会社当期純利益 +192 ・子会社配当 △506

6. 不良債権比率の推移【単体】



※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

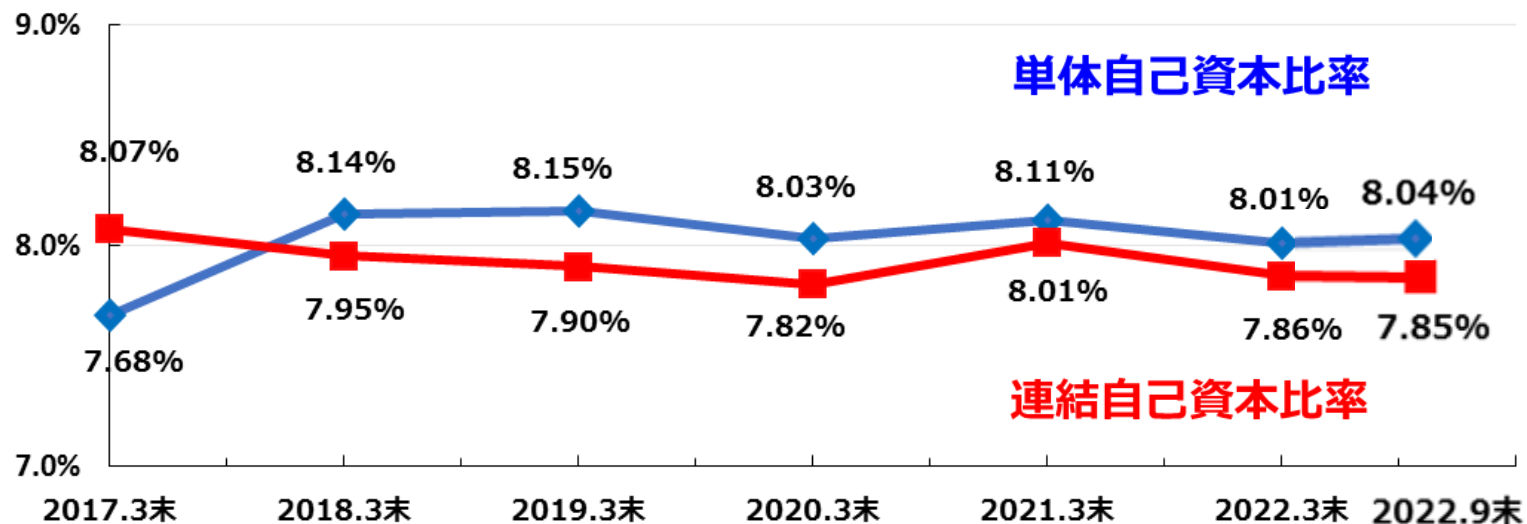
7. 自己資本比率の推移

【単体】

		(単位：百万円)		
		2022/3末	2022/9末	(2022/3末比)
自己資本	A	111,232	114,905	3,673
リスクアセット	B	1,387,430	1,428,650	41,220
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.01%	8.04%	0.03%

【連結】

		(単位：百万円)		
		2022/3末	2022/9末	(2022/3末比)
自己資本		109,655	112,691	3,036
リスクアセット		1,393,477	1,434,206	40,729
自己資本比率		7.86%	7.85%	△0.01%



※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

【自己資本】
2022年9月期は2022年3月期と比べ、利益の積み上げ等により、自己資本が増加しました。

【リスクアセット】
2022年9月期は2022年3月期と比べ、法人向け貸出金の増加等により、リスクアセットは増加しました。

＜資本政策の基本方針＞

当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。